

投稿準備について

和文誌と英文誌、同一のシステムを使用します。

- ・ ホームページ上青枠内の白文字 URL 部分を
クリックするとシステムが開きます。
- ・ 投稿前に【ユーザー登録】を行っていただきます。
- ・ 論文本文・図表・文献原稿、英文校閲証明書の各データをご準備ください。
- ・ システムから共著者に確認メールを配信するために、著者全員のメールアドレスが必要になります。
共著者には配信されたメールに返答するようにお伝えください。共著者確認となり、COI の申告・著作権に関して等の登録を行っていただきます。全員完了されませんと査読後に【受理】されません。
- ・ システムからのメール件名は、誌名または【SUJ】から始まります。
発信アドレスは【昭和大学学会 <em@editorialmanager.com>】から届きます。

投稿サイト： <https://www.editorialmanager.com/SUJ/>

ユーザー登録
どちらからでも

ここに「投稿者マニュアル」
「査読者マニュアル」があります

はじめてご利用される方へ ユーザー登録を登録してアカウントを作成する必要があります。このページの上部にあるナビゲーションバーの「ユーザー登録」をクリックしユーザー登録を登録してください。

投稿時に準備しておく情報

1. 筆頭著者名・所属・メールアドレス、2. 共著者名・所属・メールアドレス、
 3. 題目（論文タイトル）、4. ランニングタイトル（題目の短縮形）、5. 分類（論文種別）、
 6. 投稿目的、7. 倫理審査について、8. キーワード、9. 利益相反について、10. 指導教員による確認の有無、
 11. 希望査読者名（医学部は必須）、12. 別刷希望数、13. 英文校閲証明書など
- （確認 掲載料：和文誌・発刊1頁1万円、英文誌・発刊1頁7千円、別刷費・税別になります）

* 「著者情報」画面で、連絡責任著者を投稿者と別の方に変更しますと、その後投稿者はアクセスできなくなります。

“連絡責任著者”は、投稿論文に関する連絡全てを担当し、問合せ・修正等への対応または手配ができる方としてください。受付完了メールの到着を確認してください。

オーサーシップ（著者資格）について

－医学雑誌編集者国際委員会－【ICMJJE】

International Committee of Medical Journal Editors

Recommendations for the Conduct, Reporting, Editing, and Publication of Scholarly Work in Medical Journals
(Updated December 2017)

【原文：<http://www.icmje.org/>】

医学雑誌掲載のための学術研究の実施、報告、編集、および出版に関する勧告（2017年12月改訂版）

日本語翻訳版 株式会社 翻訳センター

【引用元】https://www.honyakucenter.jp/usefulinfo/pdf/ICMJJE_Recommendations_2017.pdf

【著者資格】

1. 研究の構想またはデザイン、あるいは研究データの取得、解析、または解釈に実質的に貢献した。さらに
2. 論文を起草したか、または重要な知的内容について批評的な推敲を行った。さらに
3. 出版原稿の最終承認を行った。さらに
4. 研究のあらゆる部分について、その正確性または公正性に関する疑義が適切に調査され、解決されることを保証し、研究のすべての側面に対して説明責任を負うことに同意した。

著者として名を挙げられた者は、**全員が著者資格の4基準すべてを満たす**必要があり、4基準を満たす者は**全員著者と認める必要がある**。

4基準のうち一部を満たしていない研究貢献者 [contributor] は、「謝辞」の対象とすべきである。

研究の実施者には、これらの基準を満たす者を特定する責任があり、研究計画時に特定しておいた者を、研究を進める過程で適宜修正するのが理想的である。著者として名を挙げられた者全員が基準をすべて満たしていることを判定する責任は、投稿先の雑誌ではなく、著者全員が共同で負うべきである。

連絡著者 [corresponding author] とは、原稿の投稿、査読、および出版のプロセスにおける雑誌側との主要連絡責任者である。著者の詳細情報、倫理委員会の承認、および臨床試験登録資料の提出や、利益相反のフォームと申告書の回収など、雑誌の事務的要件がすべて適切に完了していることを保証するのは、通常連絡著者である。ただし、これらの任務は単独または複数の他の共著者に委任することもできる。連絡著者は、投稿および査読の全過程を通じて編集上の問い合わせに速やかに回答でき、また掲載後は、その研究に対する批評に回答したり、掲載論文に関して疑義が生じた場合に雑誌側からのデータや追加情報の要請に協力できる立場にいる必要がある。

貢献者にとって単独（他に研究貢献がない場合）では著者資格を満たさない活動の例としては、資金の調達、研究グループの一般的な管理業務 [general supervision] や一般的な事務的支援 [general administrative support]、執筆支援 [writing assistance] ならびに技術的内容や文章の編集 [technical editing, language editing]、および校正が挙げられる。貢献内容が著者資格に至らない者については、個人別またはひとくくりのグループ（「臨床研究者」[clinical investigators] または「参加研究者」[participating investigators] など）で謝辞の対象とし、その貢献内容を明記する（「学術的助言者として貢献」[served as scientific advisors]、「研究提案の批評的校閲」[critically reviewed the study proposal]、「データ収集」[collected data]、「被験者の提供およびケア」[provided and cared for study patients]、「原稿の執筆または技術的内容の編集に参加」[participated in writing or technical editing of the manuscript] など）。